

令和4年度 調布市立多摩川小学校 学校経営計画（校長 上杉 潤）

学校の教育目標	
◎思いやりのある子<徳>      ○自分の考えをもつ子<知>      ○体をきたえる子<体>	
目指す学校像(ビジョン)	
<p style="text-align: center;"><b>「令和の多摩川小学校」</b></p> <p style="text-align: center;">多摩川小学校の伝統と文化を尊重し、保護者・地域と一体となって、未来を拓く力を育む学校</p>	
ビジョンの設定理由	◇児童の健康と安全を最優先し、教育課程の実現に向けた取組を行います ◇「生きる力」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行います ◇誰一人取り残すことなく、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現します
中期的な経営目標	
① 他者を価値ある存在として尊重できるようになるために、自分のよさや可能性を認識し、自己有用感を高められるようにします。 ② 「調布市立多摩川小学校 授業改善プラン」に基づいた、「主体的・対話的で深い学び」を通じて、基礎・基本の定着を図ります。 ③ 自分の体を知り、健康を意識するとともに、自らの安全は自らが守るという自助意識を育てます。 ④ 特別支援教育を推進し、個別最適な学びの実現と支援の充実を図ります。 ⑤ 地域の教材を生かした教育活動を充実させるとともに、地域の教育力を生かした教育活動を展開し、郷土を愛する児童を育成します。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）
①「おもいやりのある子」を育てるために、まず自分を知り自己有用感を高めることができる取組を行います。	①基礎学力を向上させるために、授業改善に努めます。授業改善の視点は、主体的・対話的で深い学びの実現を通して、個別最適な学びと協働的な学びを推進します。	①体育の授業や体育的活動の充実を図り、すすんで体力の向上を図る児童を育成します。
②社会性を育むための学校のきまりについて、小中連携を意識した「多摩川スタンダード」「よい子のやくそく」の見直しを図り、指導を徹底します。	②児童の思考力・表現力、情報活用能力を伸ばすために、校内研究と関連付けて、1人1台タブレット端末を効果的に活用できるようにします。	②災害・コロナ禍において、自らの安全は自らが守るという自助意識を育てる安全・健康教育を推進します。
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）
①児童の自己有用感を高めることができたかを学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	①学習理解に関する学校評価アンケートで、肯定評価 80%以上を目指します。	①体力向上の取組に関して学校評価アンケートを行い、肯定評価 80%以上を目指します。
②今の多摩川小学校に適した学校のきまりになったかを学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	②授業における効果的なタブレット活用について、学校評価アンケートによる肯定評価 80%以上を目指します。	②自らの安全は自らが守れたかを問う学校評価アンケートにおいて、肯定評価 80%以上を目指します。
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 特別支援教育の充実	5 保護者・地域との連携推進	
(1) 取組目標（具体的方策）	(1) 取組目標（具体的方策）	
①互いに認め合い学び合う心情を養うために、行事や児童会活動等を通じて、通常学級との交流を行います。	①学校運営協議会(CS 協議会)の設立に向けて、学校評議員会及び学校関係者評価委員と連携を図り、経営改善に取り組みます。	
②支援を要する児童について適切な支援・対応を図るために、個別指導・支援計画を作成し、月1回行う特別支援教育校内委員会において情報の共有を行います。	②地域の特色を生かした学習を推進するために、多摩川を教材とした学習を教科横断的に取り入れます。	
(2) 成果目標（数値目標）	(2) 成果目標（数値目標）	
①効果的に特別支援学級と通常級の交流が行えたかを学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	①学校評価を中心とした振り返り活動が、経営に生かされているか学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	
②支援を要する児童に対して、適切な支援・指導ができたかを学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	②多摩川を教材とした学習に取り組んでいるか学校評価アンケートで問い、肯定評価 80%以上を目指します。	

人材育成・組織運営
○ 教職員相互に研さを積めるように、主幹教諭・主任教諭を中心に意図的・計画的な OJT を行います。 ○ 教職員を適切に把握し、適材適所の分掌配置により学校運営に関わらせ、自己有用感を高めます。

